

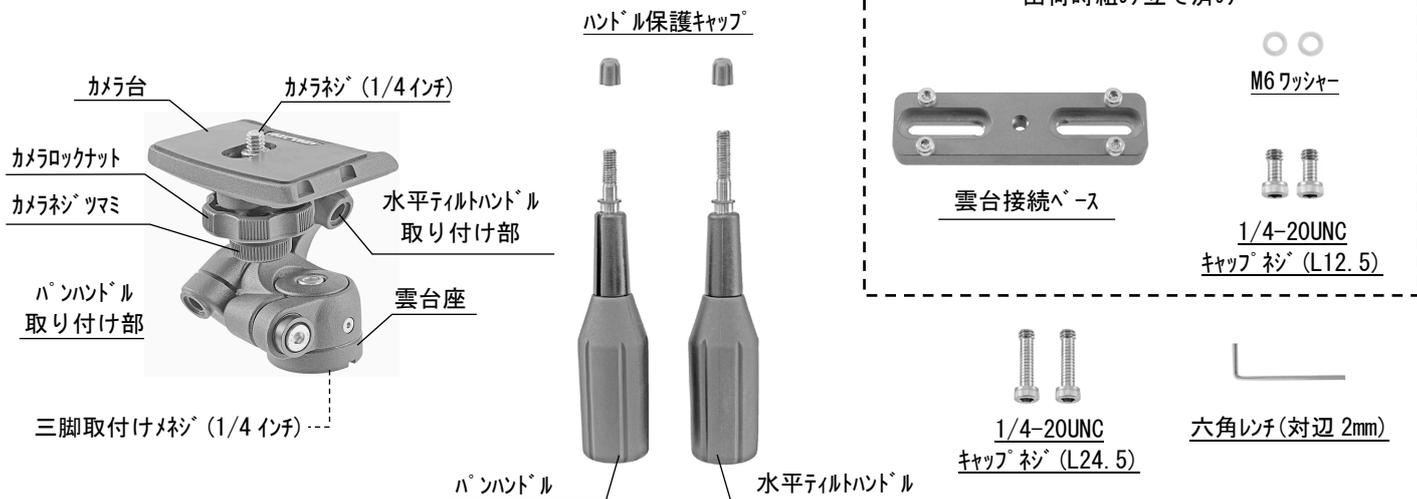
INON

INON 水中3ウェイ雲台

INON製品のお買い上げ有難う御座います。

INON 水中3ウェイ雲台は、弊社「水中三脚ハブ」専用の雲台パーツです。大型ハンドルを備え、軽快・精密にカメラの位置調整を可能にします。また、専用のハウジングアダプター「雲台接続ベース」が付属し、ハウジングをがたつきや緩みなく固定することができます。

各部名称



対応製品



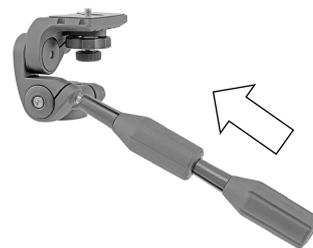
・INON「水中三脚ハブ」

ハンドルの取り付け



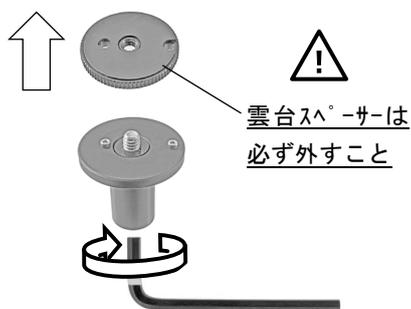
雲台に2本のハンドルをそれぞれ取り付けます。(ご使用前は毎回ハンドルのネジ先にグリスを塗布して下さい。)

ハンドルの収納

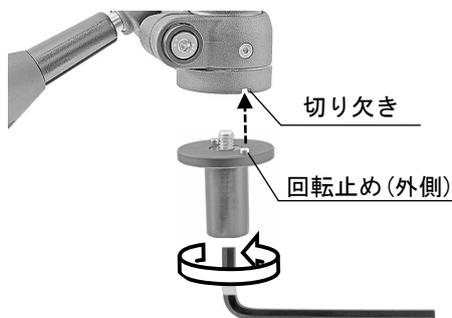


三脚の収納や運搬に際しては水平テイルハンドルをパンハンドルの後ろに取り付けることができます。

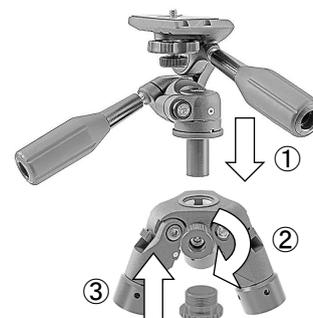
雲台を水中三脚ハブに取り付ける



エレベーター上部に雲台アダプターが装着されている場合は、六角レンチ(3/16インチ)を挿し込み、ネジをゆるめて雲台アダプターを取り外して下さい。

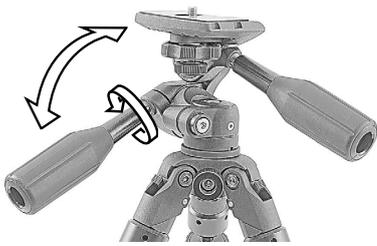


エレベーター上部に六角レンチ(3/16インチ)を挿し込み、雲台座の切り欠きと、外側の回転止めの位置を合わせ、ねじ込みます。(ご使用前は毎回ネジ部にグリスを塗布して下さい。)

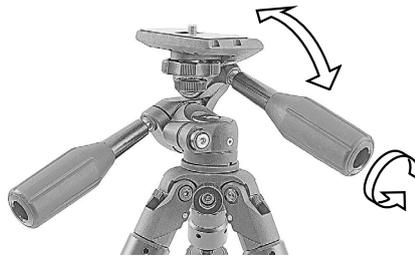


- ① 三脚ハブ本体に挿し込みます。
- ② エレベーターストップを締め付けます。
- ③ エレベーター上部の下側に、エレベーター抜け止めを取り付けます。

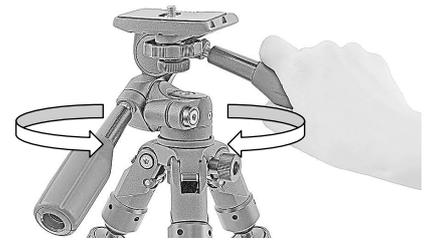
雲台の使い方



パンハンドルをゆるめると、前後に傾けることができます。



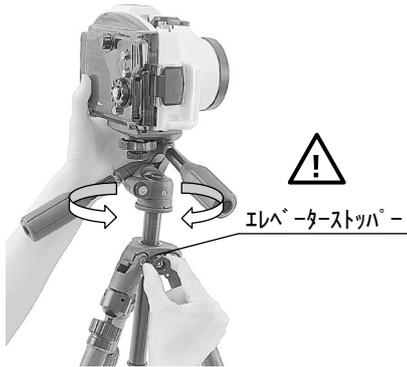
水平ティルトハンドルをゆるめると、水平調節ができます。



水平に回転させる場合は、ハンドルを持って雲台ごと回転させて下さい。

カメラハウジングの取り付け【パターン1】

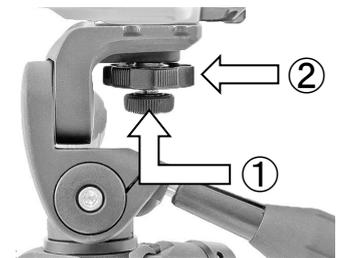
カメラハウジングに1/4インチ三脚ネジ穴が1つの場合



水平回転の固さは、エレベーターストップの締め付けで調整します。エレベーターの上下調節に連動しているので、必ず加圧に手を添えながら調整を行って下さい。



三脚ネジ穴

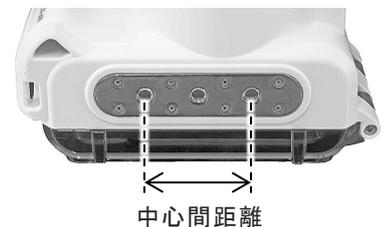


- ① カメラハウジングを支えながら、下側のカメラネジツミをねじ込みます。
- ② 次に上側のカメラロックナットで、しっかりと締め込みます。

カメラハウジングの取り付け【パターン2】

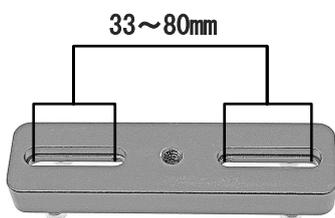
カメラハウジングに三脚ネジ穴(1/4インチ)が2つある場合

ハウジングに中心間距離が 33~80mm の三脚ネジ穴(1/4インチ)が2つある場合は、『雲台接続ベース』を介して雲台に取り付けることで、ガタつきやゆるみなく三脚に固定できます。また雲台接続ベースを介することで、イン「グリップベース M1」「システムベースII」等のベースレを用いたカメラシステムを、そのまま三脚に固定することも可能になります。



中心間距離

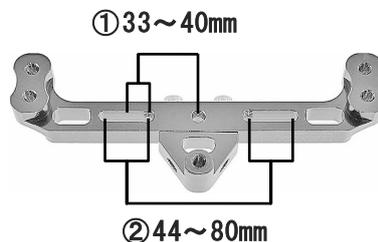
(A) カメラハウジング単体の取り付け



ハウジングに 中心間距離が 33~80mm の三脚ネジ穴(1/4インチ)が2つある場合は、雲台接続ベースを介して雲台に取り付け可能です。

※中心間距離が上記の範囲外である場合は、パターン1同様、直接雲台に取り付けて下さい。

(B) グリップベースM1の取り付け

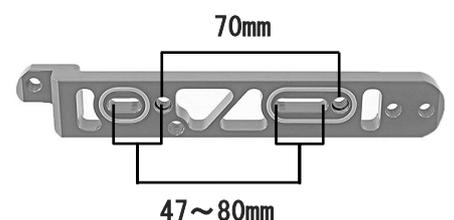


雲台接続ベースを介して、イン「グリップベース M1」を用いたカメラシステムを三脚に固定することが出来ます。

取り付けには、ハウジングに 中心間距離が ①33~40mm または ②44~80mm の三脚ネジ穴が2つ必要です。

※中心間距離が①の場合、Dホルダーの取り付けは片手側のみとなります。

(C) システムベースIIの取り付け



雲台接続ベースを介して、イン「システムベースII (メインベースII)」を用いたカメラシステムを三脚に固定することが出来ます。

取り付けには、ハウジングに 中心間距離が 47~80mm の三脚ネジ穴が2つ必要です。

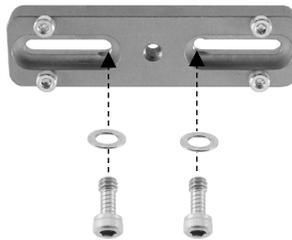
補足

グリップベースD4/ Dホルダーの取り付け

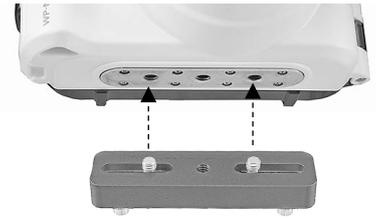


取り付けには別売オプションの「Dホルダー-三脚アダプター」が必要です。取り付け方法は「Dホルダー-三脚アダプター」付属の使用説明書をご確認ください。

(A) カメラハウジング単体に雲台接続ベースを取り付ける

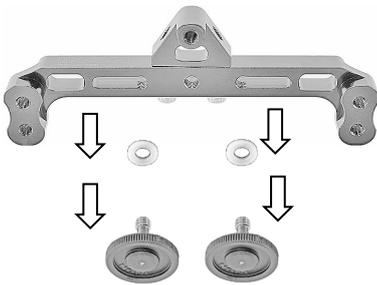


1/4キャップネジ(短)とM6ワッシャーを、雲台接続ベースに取り付けます。
(※出荷時は取り付け済みの状態)

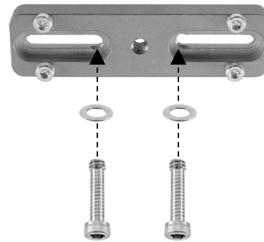


1/4キャップネジ(短)と、ハウジングの三脚ネジ穴を合わせ、水中三脚ヘッド付属の六角レンチ(3/16インチ)で締め付けます。

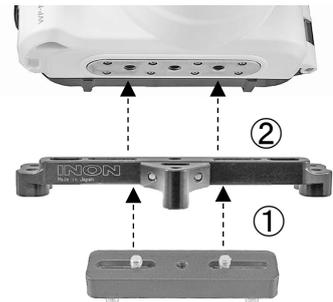
(B) グリップベースM1に雲台接続ベースを取り付ける



グリップベースM1から1/4カメラネジとカメラネジスペーサーを取り外します。

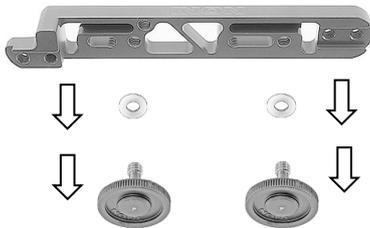


1/4キャップネジ(長)とM6ワッシャーを、雲台接続ベースに取り付けます。

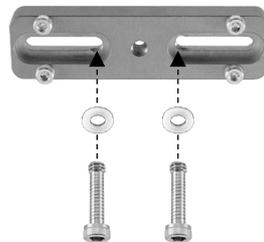


①グリップベースM1に取り付けます。
②ハウジングの三脚ネジ穴に位置を合わせて、水中三脚ヘッド付属の六角レンチ(3/16インチ)で締め付けます。

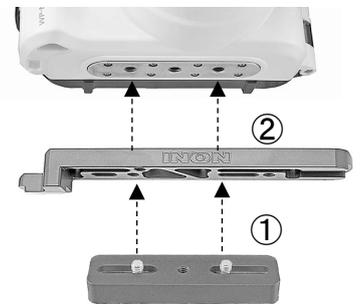
(C) システムベースII(メインベースII)に雲台接続ベースを取り付ける



システムベースIIのメインベースIIから1/4カメラネジとカメラネジスペーサーを取り外します。

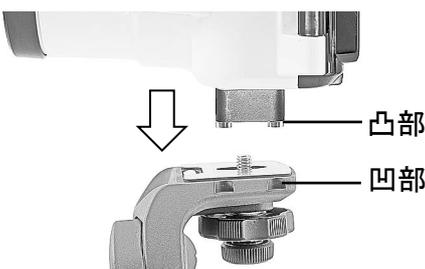


1/4キャップネジ(長)と、メインベースIIから取り外したカメラネジスペーサー(厚み1.5mm)を、雲台接続ベースに取り付けます。

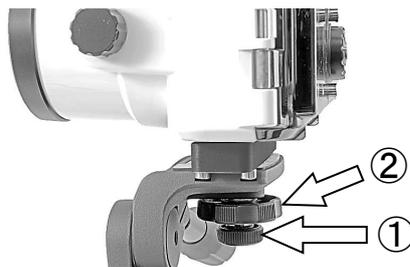


①メインベースIIに取り付けます。
②ハウジングの三脚ネジ穴に位置を合わせて、水中三脚ヘッド付属の六角レンチ(3/16インチ)で締め付けます。

雲台接続ベースを雲台に取り付ける(A~C共通)



「雲台接続ベース」の回転止め(凸部)とカメラ台の凹部を合わせます。

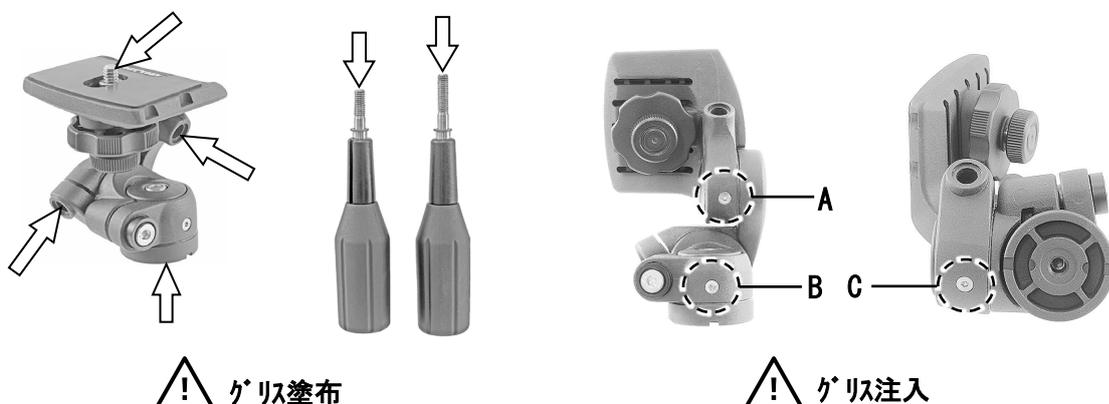


①カメラハウジングを支えながら、下側のカメラネジツミをねじ込みます。
②次に上側のカメラロックナットで、しっかりと締め込みます。

- メンテナンスについて :
- ご使用後は必ず本体からハンドルを取り外し、それぞれ真水で水洗いを行い塩分等の汚れを取り除いて下さい(※)。その後、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置いて、よく乾燥させて下さい。変形や破損の原因になる為、火や熱などに直接当てないで下さい。

(※)真水に半日~1日浸けて、塩抜きをしっかりと行うことで、可動部の塩噛みを大幅に抑制することができます。

- 電蝕による劣化や塩噛みを防ぐ為に、ご使用後は必ず各部分やハンドル等に、グリスを塗布して下さい。また、本製品の可動部の襯(図示 A~C)を付属の六角レンチ(対辺 2mm)を使って取り外し、定期的に襯穴にグリスを注入して下さい。(水中三脚ハブ 付属のインクグリスをご使用頂けます。)



- お手入れの際、アルコールやベンジン、シンナーなどの有機溶剤や、防錆剤、潤滑剤、艶出し剤、洗剤(特にアルカリ性洗剤)などの油脂/化学薬品を使用しないで下さい。本製品の構成部品には、上記物質に触れると溶けたり、脆くなったりといった変化が起こるものがあります(ホリカーボネートなど)。

- 保管上の注意 :
- 乾燥後は、直射日光の当たらない、風通しの良く乾燥した場所で保管して下さい。薬品(樟脳やナフタリンなど)の雰囲気下や、寒冷/高温/多湿環境下、温度変化の激しい場所での保管は避けて下さい。変形や破損、劣化/錆の発生、腐蝕等の原因となります。

- お子様の手の届かない所に保管して下さい。付属品や小さな部品等を誤って飲み込む恐れがあります。万一付属品や小さな部品等を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談下さい。

- 取り扱い上の注意 :
- 陸上での運搬時は、カメラは三脚から外して持ち運んでください。カメラの落下、使用者や周囲の人へのけが、物損等を起こす可能性があります。
 - 重心位置によりバランスの取りにくいものもあり、製品が予期せず倒れる可能性があります。思わぬけがや破損、故障の原因となりますので、十分にご注意下さい。
 - 機材のセットアップの際は、カメラの取り付け、ストッパー等の固定は確実に行って、落下や転倒を防いでください。

- オプションについて :
- 水中三脚ハブ ¥23,000-(税抜)
本製品が対応している、水中用の三脚を構築するための基幹パーツです。脚部には別途「カーボン伸縮アーム」「スティックアーム」を接続可能です。各種用途に合わせて脚の長さを選択することが出来ます。



- Dホルダー-三脚アダプター ¥2,000-(税抜)
Dホルダーと三脚の接続を可能にするアダプターです。「Dホルダー」や「グリップベースD4」を用いたカメラシステムを、そのまま三脚に取り付けることが出来ます。



- インクグリス ¥500-(税抜)
水中三脚ハブに付属しているシリコングリスです。メンテナンスのグリスアップに使用できます。



イン 水中3ウェイ雲台 主要性能 [*1]	
名称	水中3ウェイ雲台
寸法[*2]	170mm(幅)×90mm(高さ)×180mm(奥行)
本体重量[*2]	476g(陸上) / 約250g(水中)
本体材質 / 表面処理	アルミ合金 / ステンレス / POM等

*1 性能、価格等、予告なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。

*2 付属品(雲台接続ベース)は含みません。

有限会社 イン
〒247-0061 神奈川県鎌倉市台 2-18-9
Tel/Fax 0467-48-2174/0467-48-2178
E-mail support@inon.co.jp
URL <http://www.inon.co.jp/>
2021年4月